

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	都城市	代表者名	池田 宜永
担当者部署	市民課	連絡先電話番号	0986-23-2128
担当者役職	副主幹	担当者氏名	田中 秀頼
		連絡先E-mail	*****
住所	8858555 宮崎県都城市姫城町6街区21号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	*****

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	及川 慎太郎
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	講演と座学による研修を実施いただきました。派遣日前から講演や座学の内容について共有をいただき、本市が助言いただきたい内容を的確に反映された研修でした。また、本市が導入するシステムについても造詣が深く、全ての質問に回答いただけただけでなく、今後発出するであろう課題やつまづき部分についてもアドバイスいただきました。現状の問題解決はもちろんのこと、今後の活動まで見据えた助言により、事業の推進に大いに役立つものと感じました。
アドバイザーへの要望事項	書かない窓口稼働まで報告、相談させてください。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	2023年10月20日	支援・助言（実地）	有	2023年9月14日	908
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年11月6日	支援・助言（実地）	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420
3-2. 派遣場所	会場名	都城市役所	最寄駅	西都城駅	
	所在地	宮崎県都城市姫城町6街区21号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市職員	32人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	新たに導入するシステムと既存の基幹系システムとのデータの連携手法について、RPAの活用範囲や活用方法など、効率的な運用を短期間で構築しなければならない。ガバメントクラウド対応も初めてのケースとなるので同じく不安視している。また、バックヤードのDXについて、アイデアがまとまっておらず、最適な改善策に行き着いていない。加えて多くの現場職員がプロジェクトに参画しているため、この機会にDX人材として育成したい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	書かない窓口導入に向けて、ガバメントクラウドの活用、及びRPAの活用により、新しく導入するシステムと既存の基幹系システムの効率的なデータ連携を可能にし、書かない窓口のシステム導入効果を最大化する。また、書かない窓口導入後、効率的な事務処理が可能となるバックヤードの構築を目指す。併せて、本プロジェクトに参画しているメンバーがDX人材となるような意識醸成を行う。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	【講演】 書かない窓口はシステムを導入することではないことを改めてお話しいただき、アドバイザー自身の経験を基に本市がこれから取り組むべき業務改革、意識改革についてアドバイスいただきました。特に意識改革の部分では、市民だけでなく職員の負担も軽減していくんだ、DXは難しくないんだということを丁寧に助言いただきました。 【座学】 新たに導入するシステムについて、既存の基幹系システムへの自動入力及び証明書発行でのRPAの活用方法をご教授いただきました。新システムについても、受付から審査までの流れの中でどのように活用していけば効果が得られるかを助言いただき、デモ機では見えてこない本番を想定した資格データの活用方法についてご教授いただきました。また、バックヤードについて、現場を確認いただき、2線3線への申請書及び職員の動線を一緒に確認いただきました。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	講演を受けて、書かない窓口導入に向けて今後取り組んでいく事務内容のイメージ共有ができました。加えて、北見市のこれまでの取り組みと成果をお話いただき、「仕事は変えられるんだ」という意識醸成につながりました。 座学では、新システムがどのように動くのか、連携データがどのように利用されるのか、新システムを活用した場合の事務の流れと現行の事務の流れのGAPの解消方法、RPA活用の範囲・タイミング等々、本市が不安、疑問に感じている事項に対して1つ1つ回答いただきました。システムの構築についてのみならず、使う側の立場としての活用方法もご教授いただき、さらなる業務改革のきっかけにつなげることができました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	本市では令和6年2～3月に書かない窓口稼働予定となっています。 システムの構築、業務改革とを並行して実施している中で、様々な疑問が出てきます。 今回のアドバイザーの支援により、これまでの疑問、不安が解消されました。 今後の取り組みについてもアドバイスいただいたところですが、稼働日までアドバイザーへの報告、相談をさせていただきたいと思っております。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事業のコアメンバーによる質疑応答をメインで実施したため、アンケートは実施しておりません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	年度内に書かない窓口の運用を開始し、次年度以降も継続した窓口業務改革を実施。各部署でも業務見直しの機運を持ち、全庁的に業務改革に取り組む。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

